

協会だより

第35号

平成29年10月16日発行

福岡県立学校事務職員協会

会長の挨拶

「御挨拶」

今年度も上半期が終了し、会員の皆様におかれましては学校行事や監査の準備等御多忙な日々を過ごされていることと存じます。また、協会の運営に対しまして、日頃から御支援、御協力をいただき厚く御礼申し上げます。

本年7月に発生しました九州北部地方の集中豪雨は大きな被害をもたらしました。被災された方々には、心よりお見舞い申し上げます。復旧に向けて日々努力されている方々の姿や、また支援のためのボランティア活動に励む方々の姿に深く感動いたしました。

また、同じ7月には明るいニュースもありました。今年度の福岡県立学校事務職員協会総会において、宗像副市長 久芳昭文氏による講演がありましたが、その中で「宗像・沖ノ島関連遺産群」の世界遺産登録に向けての活動について言及されました。当初、イコモス（ユネスコの諮問機関）の勧告では、沖の島と3つの岩礁のみが世界遺産の対象となり、他の関連遺産群は除くということでしたが、7月に開催された世界遺産委員会では、関連遺産群を含む全てが世界遺産に登録されることが決定しました。また一つ福岡県から世界遺産が誕生したことは、大変喜ばしいことです。

6月には長崎県佐世保市で、九州大会が開催されましたが、福岡県から筑豊地区の研究グループによる「ワークライフバランス」をテーマにした発表を行いました。今、働き方改革などといった、長時間労働を縮減し、自分の時間を持つことの大切さが注目されています。ワークライフバランスを実行するには効率よく仕事を進めていくことが必要です。地方公務員法の改正により、給与反映を前提とした人事評価制度が一般職員も平成29年度から本格的に実施されるようになり、その評価が平成30年度の昇給や勤勉手当に反映されるようになります。評価項目の「チームワーク」の中で、仕事と生活の調和に資するような効率的な業務運営や良好な職場環境づくりに向けてとった行動が評価のポイントの一つになっています。毎日多忙な日々を過ごしていらっしゃると思いますが、自分のやり方を見つけて実行してください。

また、同大会の佐賀県の発表の中で、年間のスケジュール表を作成し、引継ぎに活用する例があげられていましたが、自分で計画表を作成するのも、効率よく仕事を進めていく手段の一つであると思います。行コミの事務職員協会のスマートページにも役立つソフトが掲載されていますので、是非活用してください。

8月に石川県金沢市の県立音楽堂で開催された全国大会では、午前中は研究発表、午後からはパネルディスカッションや班別討議が行われました。県立音楽堂は、加賀百万石の観光都市にふさわしい立派なコンサートホールで、その圧倒的なパイプオルガン等の設備に驚かされました。今年で全国協会は70周年を迎えるということで、大会の前日には祝賀会が行われました。全国大会実行委員会の皆様の運営努力もあって、すばらしい記念大会となりました。

結びに、本協会は、学校事務職員としての資質の向上や若手職員の人材育成に取り組んでいます。

また、各種委員会、各地区研究委員会も事務の効率化・改善を目指して日々研鑽を積んでいます。今後とも協会の活動に御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、会員の皆様の益々の御健勝、御活躍を祈念いたします。

(会長 武田 美余)

各 研 究 大 会 等

◎福岡県立学校事務職員協会研究発表会並びに総会

開催日 平成29年5月26日(金)

会 場 福福岡リーセントホテル

【研究発表会】

1 研究発表

「ワークライフバランス ～意識を変える」 筑豊地区研究委員会

発表者 稲築志耕館高校 参事補佐兼事務次長 佐々木 志津子

嘉穂東高校 主任主事 川並 敏文

今年度九州大会で行われる研究発表のダイジェスト版の発表が行われました。

2 特別講演

演 題 「私が出会った素晴らしい人」

講 師 宗像市副市長 久芳 昭文 氏

3 研究部活動報告

4 地区事務研究委員会活動報告

【総会】

3名の来賓をお迎えし開催されました。福岡県教育庁総務部総務課日高課長からご祝辞を頂きました。平成29年度新役員、評議員、選挙管理委員の紹介を武田会長から行われ、その後、新規採用者の自己紹介が行われました。議案については、提案どおり議決されました。

【その他】

旧役員8名のうち出席いただいた2名の方に、感謝状と記念品が贈呈されました。お疲れ様でした。

平成30年度は平成30年5月25日(金)開催予定です。

◎第65回九州協議会研究大会並びに総会

開催日 平成29年6月7日(水)～6月9日(金)

会 場 アルカス SASEBO

九州・沖縄各県から289名(内福岡県58名)の参加がありました。

本県からは筑豊地区研究委員会の発表「ワークライフバランス」があり、参加者は楽しそうにシー

トに記入したり発表に何度も頷いたり和気藹々な雰囲気、会場の共感を得ていた発表でした。

特別講演は、株式会社 Aand Live 代表取締役 高田 明氏「夢持ち続け日々精進」。通販番組「ジャパネットたかた」に出演されていた当時と変わらぬハイ톤ボイスで「伝えること」の重要性についての熱い講演でした。

活発な意見交換がなされた初日の研究発表と2日目の高田氏の講演、熱くぎっしり実の詰まった研究大会だったと思います。

功労者表彰では、本県から19名の方々が表彰されました。総会では会務報告・決算・事業計画案・予算案について審議がなされました。

30年度は、平成30年6月20日(水)～6月22日(金)佐賀県鳥栖市で開催されます。



◎第70回全国公立高等学校事務職員研究大会 総会

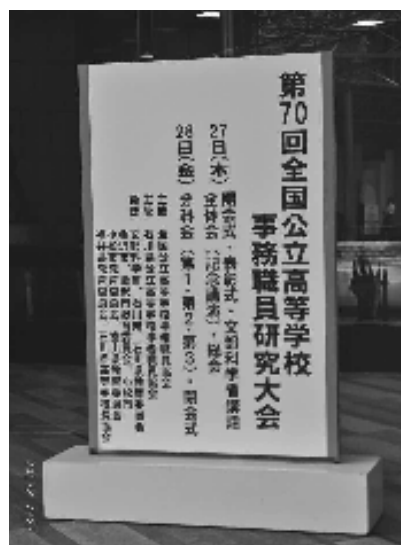
開催日 平成29年7月26日(水)～平成29年7月28日(金)

会 場 石川県立音楽堂 他

全国から841名の参加があり、本県からは55名の参加がありました。本県からの研究発表はありませんでした。詳しい内容は大会冊子をご覧ください。

永年勤続表彰は本県から19名が表彰されました。おめでとうございます。

30年度は、平成30年7月25日(水)～7月27日(金)山口県山口市で開催されます。



今年7月に発生しました九州北部地方の集中豪雨で大きな被害を受けられた、朝倉市杷木町にあり
ます朝倉光陽高等学校の坂本事務長に当時の状況をお伺いしました。

お忙しい中、対応していただきありがとうございました。まだまだ復興の途中で想定外の業務も多々
あるかと思います。お見舞い申し上げます。突然の災害にどう対応されたのか、会員の皆様にも少しで
も参考になれば幸いです。

■〈7月5日の状況を教えてください。〉

〈いつの段階で危険な状況だと判断され対応されましたか?〉

当日は3時過ぎまで激しい雨も降らず、避難指示の発令もありませんでした。周辺の状況も変わ
りはなく、危険な状況ではありませんでした。危険な状況だと気づいたのは、職員が帰宅する頃で、
急に、学校の前の国道が冠水し、横を流れる寒水川は土石流となりました。避難できる状況ではあ
りませんでしたので、土石流の状況を見守りながら、学校に留まりました。

■〈生徒への対応はどうされましたか?〉

期末考査期間中で、生徒は大方いませんでしたので、特段対応はありませんでしたが、数名の生
徒が居残っていましたので、避難してきた他校の生徒3名と学校に留めました。

当日は電話で全生徒の安否確認をしました。翌日から7月19日まで臨時休校とし、7月11日
から家庭訪問を実施しました。

■〈職員への対応はどうされましたか?〉

帰宅出来なかった27名の職員が学校に留まりました。帰宅した職員には、着いたら連絡をする
ように指示し、そして全職員の安否確認をしました。

■〈施設の被害状況を教えてください。〉

校舎、実習棟、工作物、樹木等に被害はありませんでしたが、山間にある実習地の斜面が10カ
所崩落し、1カ所は寒水川の土石流に巻き込まれました。また、水田2カ所及び運動場と校内敷地
の一部に土砂が流れ込み堆積しました。

■〈地域の方が避難されてきたと伺っていますが、職員は、どんな支援をされたのですか?〉

本校は避難所施設ではありませんでしたが、地域の学校として避難されて来られた方々の受け入
れをしました。避難者・被災者の中には、高齢者や体が思うように動かない方もいましたので、そ
の方々には介護実習室を使っただき、その他の方は会議室を使っただきました。当日の夜
は職員が作ったおにぎりを提供し、翌日から職員とコミュニティの方々が作った食事やパンを提供
しました。そして7月10日までの6日間24時間体制で対応しました。

■〈避難指示が出された日の学校の状況と対応を教えてください。〉

7月5日20時39分に避難指示が発令されましたが、学校の周辺の状況では避難できそうではありませんでしたし、土石流も校舎内までは流れ込んでくるようなこともさそうでしたので、学校に留まりました。

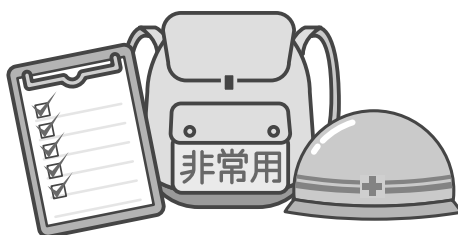
7月10日12時51分に避難指示が発令されました。警察、消防の指示もあり避難者・被災者及び職員は一旦体育館2階アリーナに移動し、その後、警察車両や自家用車で避難所まで移動しました。

7月18日15時18分に避難指示が発令されました。指示に従い職員全員が避難しました。臨時休校にしていたので、いずれの時も生徒はいませんでした。

■〈その他災害対応で、各学校にお伝えしたいことがあればお願いします。〉

災害発生時の対応の複雑さや多さを考えると、マニュアルにはない臨機応変な対応も必要となり、関係機関や地域コミュニティとの調整が大切だと思います。また、自治体と避難所施設利用に関して協定を結んでいる学校も多々あると思いますが、学校がどの程度関わるのか、自治体との調整が必要になると思います。

事務的なことでは、災害復旧には施設設備等の記録が必要となりますので、日頃から整理し、把握しておくことが大切です。



Rookies

「新規採用職員からの一言 ～採用後をふりかえって～」

平成 29 年 4 月採用 (義務制からの転入を含む) の期待のルーキーズから
寄稿していただきました。



育徳館高等学校 柳郷 秀央

本年度より義務制から異動してきました。県立では、初めて経験する業務が多く、また、環境の違いもあり、4月当初は、困惑する毎日でしたが、職場の方々から支えていただき、少しずつですが、自分のペースで仕事ができるようになってきた気がします。先輩職員の皆さんから多くのことを学び、1日でも早く、たくさんの人から信頼される職員になりたいと思っています。



京都高等学校 田中 佑弥

4月3日の辞令交付式から早くも4ヶ月が経ちました。ややもすると、昨日のように思える辞令交付式ですが、この4ヶ月間は何年もの経験を積んだかのような、実に濃い4ヶ月でした。公務員としての自覚を学び、福岡県職員としての責任を実感し、所属校の事務職員としての能力向上に努めました。まさに、今年の4月から新しく生まれ変わった「自分」になった気持ちでいます。この気持ちを忘れずに、これからも毎日多くを学び、精進していきたいと思います。



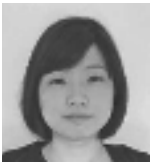
小倉南高等学校 庄島 慎也

福岡県の職員としての社会人生活も5ヶ月が過ぎようとしています。小倉という今までなじみのなかった地域での社会人生活の始まりに最初は不安でしたが、周囲の人たちの助けもあり業務を少しずつこなしています。まだまだ社会人として業務の面でも、業務以外の人としての面でもまだまだ足りないところが多くあることを実感しました。これからも社会人として一生懸命自分を磨いていきます。



ひびき高等学校 北野 広大

私が4月にひびき高等学校の事務職員として採用されてからもうすぐ半年が経とうとしていますが、学校の雰囲気や日々の業務など、新鮮なものばかりでとても密度の濃い半年間だったように思います。ひびき高校は定時単位制ということで、私が想像していた高校とは全く異なるものだったので最初は戸惑いもありましたが、生徒達も明るく職場も和やかで、楽しく業務に取り組んでいます。これから先も事務職員として、学校現場を支えていけるよう日々努めていきたいと思っています。



八幡高等学校 谷平 真里奈

義務制の中学校から異動してきました。4月当初は義務制とは異なる業務内容に戸惑い、失敗続きの毎日でしたが、事務室の皆さんに助けをもらい、たくさんのことを教わりながら日々過ごしています。これからは学校の一員として、頼りにされる事務職員を目指し、頑張りたいと思います。



八幡中央高等学校 小島 直樹

新規採用で八幡中央高校の定時制課程に配属されました小島と申します。時が経つのは早いもので、採用から5ヶ月が経とうとしております。前職は工場に勤めておりましたが、全く異なる事務という仕事に戸惑いつつもまわりに助けられ、感謝の気持ちで取り組んでおります。この感謝の気持ちを忘れず定年退職を目標にして頑張っていきたいと思っています。



八幡工業高等学校 田中 結女

八幡工業に来て約4ヶ月が経ち、だいぶ自分の仕事の分担が分かってきました。先生方や事務室の方々とも徐々に親睦を深められていると思います。最初の頃は、やることなすこと全てにおいて初めてで、理解するのに時間もかかってしまいましたが、これから少しずつ色々な業務に慣れていきたいと思っています。



東筑高等学校 友添 優里

採用直後は、わからないことさえわからない毎日で少しも役に立てていないと悩みが多かったです。しかし、忙しい中でも、親身になって業務を教えてくださいの職場の方や悩みを共有できる同期に支えられ、だんだんと前向きに業務に取り組むことができるようになってきました。現在は、なんとか自分なりに調べようと努力しています。時間は多くかかりますが、この一年の勉強を来年度につなげたいです。



宗像高等学校 中野 寛弥

4月に採用されて早々と4ヶ月が経ちました。4月、5月の段階では目の前にある仕事をこなすので精一杯で仕事の意味を理解できずにいました。しかし、最近は少しずつ仕事にも慣れてきて仕事の意味を段々と分かってきたように思います。何よりも私は職場に恵まれているなとつくづく感じます。職場はいつも元気で明るくて、先輩や上司はとても優しいです。そんな職場で私は多くのことを学び少しずつでも成長し1日でも早く学校の戦力になりたいと思い仕事に取り組んでいます。



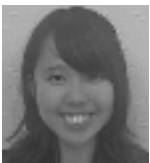
水産高等学校 池田 英里子

4月より水産高等学校に配属され、あっという間に半年が過ぎようとしています。事務室の皆さんや先生方が暖かく見守り、支えてくださるおかげで仕事ができていると実感する毎日です。これからも周りの方々への感謝の気持ちを忘れず、日々学び、業務への理解を深め、学校の一員として力になれるよう努力していきます。



新宮高等学校 中村 綺香

新宮高校に配属され、半年が経とうとしています。最初は学校の雰囲気や慣れない言葉に戸惑うことばかりでしたが、事務室の方々に優しく教えていただき少しずつ学校の雰囲気や業務にも慣れることができました。まだまだ分からないこともあり、迷惑をかけることもあると思いますが、支えてくださる皆さんへの感謝の気持ちを忘れずに、先輩方のように働けるよう日々勉強し、責任感を持って仕事に取り組んでいきます。



福岡魁誠高等学校 金久 佳苗

4月に新規採用され、早いもので5ヶ月が経ちました。当初は右も左も分からない中でしたが、同じ事務室の方々に、とても優しくそして丁寧にご指導をいただいたおかげで、毎日の業務に楽しく取り組むことができ、充実した日々を過ごすことができました。まだまだ未熟な私ですが、これからは自ら学び、そしてより周りに目を向けて、早く先輩方のような事務職員になれるように日々努力していきたいと思っています。



博多青松高等学校 緒方 大輔

本年度、義務制の小学校より博多青松高校へ異動して5か月が経とうとしています。現在担当している業務は義務制の時に経験したことがないものばかりで戸惑いが多いですが、坂本参事をはじめ事務室の先輩方に助けていただきながら日々の業務にあたっています。

この恵まれた環境に感謝をしながら、事務室の先輩方に少しでも近づけるよう日々精進していきます。



福岡高等学校 坂梨 幸乃

本年度、義務制の小学校から異動してきました。義務制とは異なる環境や膨大な仕事量に戸惑うことばかりですが、周りの方に本当に支えていただきながらなんとか仕事をしております。異動してきてから毎日があっという間ですが、これからも多くのことを吸収していき、少しでも役に立てるように頑張っていきたいです。よろしくをお願いします。



玄洋高等学校 亀山 栞奈

4月に新規採用され、今日までがむしゃらに走ってきました。忙しさに波はなく次から次へと新しい仕事やってくるので不安に押しつぶされそうになることもありますが、ひとつひとつの仕事に丁寧に向き合っていきたいです。学校事務は業務内容が非常に広くとても大変ですが、先輩方のような立派な事務職員になれるよう頑張ります。



春日高等学校 北原 里紗

社会人としてのスタートを春日高校で迎え、半年が経過しようとしています。赴任した当初は、何もかもが初めてで不安ばかりでしたが、同じ事務室の先輩方からの丁寧なご指導、先生方からの暖かいお言葉に支えられ、とても楽しく、充実した毎日を過ごすことができます。現在は自分の仕事だけで精一杯ですが、今後しっかりと基礎知識を身につけ、社会人としての自覚、及び幅広い視野を持つことで人としても成長できるよう、日々努力していきます。



筑紫中央高等学校 佐藤 太一

4月より筑紫中央高等学校に配属されてから、あっという間に半年が過ぎました。配属当初は、業務の多さに戸惑い、たくさん失敗をして、ご迷惑をおかけすることもありました。しかし、指折りの実力者である素晴らしい先輩事務職員の方々、教員の方々に支えられ、焦らずにコツコツと業務に取り組んでいます。今後は、事務職員のスペシャリストになれるように頑張っていきたいと思います。



筑紫高等学校 碓山 清生

採用されてからももうすぐ半年が過ぎようとしております。4月は、分からないことばかりで、仕事の量やその内容に戸惑っていました。しかし、周りの方々に助けられながら、なんとか仕事を進めていくことができました。まだまだ分からないことも多く、助けられてばかり毎日ですが、一歩ずつ前に進むことができていると思います。これからも一歩ずつ前に進んでいき、事務職員として成長していきたいと思います。



明善高等学校 柴田 千輝

「生徒を最優先に考えて働いてくれ。」赴任先のある教諭に言われた最初の言葉でした。学校現場で働くことは、予想以上に大変で、毎日が忙しく過ぎました。自身が学生ときは、先生や事務職員がこんなに大変だとは想像もつかなかったです。それでも、自分がする仕事が生徒の為になるのだと考えると活力が湧いてきます。「生徒を第一に」をモットーにこれからも働き続けていきます。



伝習館高等学校 吉武 拓

4月の採用から5ヶ月が経とうとしています。右も左もわからないなか、周りを見るといつも相談に乗ってくださる先輩方、先生方に支えられ楽しく仕事できています。日々の業務や伝習館の定時制が今年閉課程を迎えるなど、学ぶことが数多くありますが、伝統ある伝習館の一員として、がんばっていききたいと思います。



三池工業高等学校 田代 泰士

今年度から新規職員として採用され、もうすぐ半年が経とうとしています。何もわからなかった最初の頃に比べれば、仕事にも雰囲気にも少しずつ慣れてきており、上司や先輩、職場の方々、同期にも恵まれた環境にいるなど感じています。

まだまだわからないことや失敗することもあるけれど、教えてもらい、吸収し、学びながら職員として成長していきたいと思います。



大牟田北高等学校 石川 沙也香

採用されて早いもので半年が経とうとしています。毎日が初めてのことばかりで、たくさん失敗をしてしまい、心が折れそうになる時もありましたが、周りの先輩方から助けていただいたおかげで何とか乗り切ることができました。まだまだわからないことが多く、戸惑いもあると思いますが、前向きな気持ちを忘れず、少しでも早く成長できるようこれからもがんばりたいと思います。



八女高等学校 小倉 彩香

4月の採用から今日まで勉強の毎日で、非常にめまぐるしく、あっという間に時間が過ぎていきました。日々の業務はいまだに慣れないことが多く、早くも半年が経とうとしていることが信じられません。今はまだ周りの方々に迷惑をかけてばかりですが、これから沢山の知識を身に付け、成長していけるよう精進したいと思います。



福島高等学校 樋口 優闊

福島高校に配属され、もうすぐ半年になります。とても優しい職場の方々に支えられ、拙いながらも業務を行ってきました。私に的確な指示を与えつつも自分の業務をしっかりこなしている先輩方には頭があがりません。これから先なにか起こるかわからないことだらけで不安も多いですが、業務を行っていくなかで理解を深め、知識をつけ一人前になれるよう日々取り組んでいきたいと思っています。



嘉穂高等学校 石橋 俊明

採用後の5ヶ月を振り返ると、周りの方々に感謝する日々の連続のように思います。日頃から、スケジュール管理、法令遵守の教えを徹底しつつも気に掛けてくださる上司、どんな時も笑顔で丁寧な指導をして下さる先輩方にいつも支えられています。一日も早く一人前の事務職員になれるよう一つの職務に全力で取り組んでいきたいと思っています。



太宰府特別支援学校 目野 美幸

新規採用から半年、振り返ると右も左もわからずに失敗し、落ち込むことも多々あったことを思い出します。しかし、どんな時でも事務室の先輩方はあたたかい声かけや指導をしてくださり、支えてくださいました。また、元気で明るい子どもたちのパワーは私の大切な原動力となっています。

今はまだ目の前の仕事で精いっぱいですが、早く憧れの先輩に近づけるよう、これからも一生懸命業務に励みます。

